

お茶が飲みたい  
わけではないのに  
つつい、カフェに  
寄ってしまおう私。



私たちはどうして  
「そこ」を  
求めるんだろう。  
長尾先生、教えてください。

そこに一歩足を踏み入れると気分がガラッと変わる。  
日常にひそむ非日常のような場所といたら良いでしょうか。  
カフェでも、街でも、あるいは遊園地でも、  
場所というものは、そこにしかない性格や特徴をもっています。  
それは、集まる人々が発する色彩、そこで交わされることば、  
さらには時代背景や政府の政策などにより、  
化学反応のようなものが起こって、できあがっていくもの。  
複合的な視点で、お店や街、国や地域を見つめ直すと  
その場所が形づくられた理由が浮かび上がってきます。  
それを知ることが、一つの物語を読むようにおもしろい。  
当たり前の世界も  
ちよつと変わって見えてくるはずですよ。

総合文化学科  
准教授 長尾洋子



和光3分大学

現代人間学部

小田急線鶴川駅から

表現学部

徒歩約15分

経済経営学部

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学